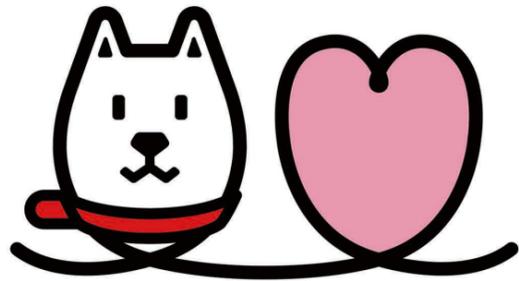


映画による心の復興支援

支援物資と共に映画をお届けし、心のケアを行う活動に役立てられます。

特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション



つながる募金

スマホでかんたん募金
ソフトバンクつながる募金



銀行振込による募金

銀行名 ジャパンネット銀行 支店名 ビジネス営業部 (店番 005) 口座番号 普通 3010343
口座名 門真フィルムコミッション 心の復興支援

団体概要 (2019年12月1日現在)

組織名 特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション (Kadoma Film Commission Osaka Japan)
設立 2016年1月30日
特定非営利活動法人内閣府認証取得 2017年1月6日
登記完了 法人設立 2017年1月8日
目的 特定非営利活動促進法(平成十年法律第七号)に基づき設立された特定非営利活動法人で、映像を基軸とした海外との文化交流を促進し、相互の国の文化を尊重し合える社会を構築し、映像業界の次世代を担う人材育成に繋がる事業を行い、また映像を用いた魅了あるまちづくりに寄与し、地域を活性化させ、町と映像文化の健全な発展に資することを目的とする。

事業内容 (2019年12月1日現在)

定款抜粋 第2章 第3条 「本法人は、地域にある町の魅力の伝播の薄れや、地域愛の希薄さ、地域に誇りを持つことに対して、映画や映像に関する事業を行い、地域の魅力を伝え、魅力あるまちづくりに寄与し、地域の活性化を目的とする。
事業区分 定款第3条に規定する目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。
(1)地域の魅力を映像、音声、文書、インターネットなどを通じて発信する事業
(2)地域の魅力を発信するための人材育成事業
(3)映画祭や上映会、また音楽や映像や俳優などの映画の構成要素を活用してのイベントなどを通じて地域の活性化を図る事業
(4)その他の目的を達成するために必要となる事業
事業 ・門真国際映画祭
・フィルム エンターテインメント レーティング機構 (英語表記「Film Entertainment Rating Organization」、略称「FERO」)
・映像翻訳サービス(英訳、和訳、海外映像の音声吹き替え/字幕制作)
・門真国際映画祭アーカイブ事業
・すぐ猫スタプロジェクト(町猫の映画出演サポート)
・イベント撮影事業(町のイベントを映像化し、魅力を伝えるコンテンツを制作)
・コミュニティ創出事業(上映会、餃子部、写真部、ラジオ部などのイベントを開催)
・映画制作事業(映画を制作することで、その過程の楽しさを伝える)
・ワークショップ事業(8回の受講で映画をつくるワークショップなどを開催)
・ラジオ番組制作(「今夜、門真のハート」、「国際映画祭選んだこの映画」など)

特別後援 ※敬称略 50音順

株式会社アドビシステムズ、京阪ホールディングス株式会社、J:COM、パナソニック株式会社、ラジオ大阪

特別協力 ※敬称略 50音順

株式会社NSE、株式会社ネクステジ

提携映画祭 ※敬称略 50音順

中之島映画祭、New York Japan CineFest

支えてくださった企業・団体の皆様 ※敬称略 50音順

アジアンショップ ムタサン、イタリア文化会館-大阪、イラストワーク カムカム、株式会社エムケ、大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部、画家の目写真館、門真市立公民館、門真市シルバー人材センター、カドマルシェ、門真れんこん未来創造プロジェクト、門真れんこん屋、医療法人 健河会 河村クリニック、真宗大谷派 光明山 願得寺、グラスショップ サエラ、こどもアート教室PICARO、サウンドワーク・アシュリー、関前諸島岡村島映画祭実行委員会、有限会社桜めいほう、スタジオ ウー、センケイ整体院 定村寛定、佐野幸雄司法書士 行政書士 事務所、ダンスサークルmagnet、喫茶チエアクロ、てい喰あう人、徳丸商事株式会社、BAR TREK、株式会社中村工務店、曹洞宗 天王山 南駒寺、FM-HANAKO、はま太郎、パティスリーエルブランシヨ、あいるあい〜る、ヘア&メイク Blue Stone、ブルクラード橋口株式会社、有限会社 本澤組、松園建設株式会社、まじめや門真店、若狭や製麺所、門真を愛する皆様

理事・役員・顧問

理事長 奈須 崇 (門真国際映画祭運営事務局 代表)
副理事長 松本和明 (役者ドットコム 代表)
合屋正虎 (門真フィルムコミッション N Y 支部 支部局長)
事務局長 佐久間京子 (門真国際映画祭運営事務局 事務局長)
理事 武信貴行 (應典院コミュニティシネマ座長・門真国際映画祭アーカイブ 主任)
本村洋典 (プログラマー)
金 哲義 (劇団主宰。MAY所属)
山口祐司 (ヤマグチヤシン代表・カメラマン)
古田志保 (心理セラピスト)
水野いくよ (俳優・すぐらんぶる えつく代表・演技指導者)
佐久間淑子 (事務)
藤田由紀子 (あわてんぼうちゃん和ゆっくりカタツムリさんの会 代表)
二階堂弘美 (俳優・全米ヨガアライアンスRYT 200修得 ヨガ講師)
林 知明 (映像監督・カメラマン)
小宮さえこ (こどもアート教室「PICARO」主宰)
永山珉潤 (書道家・日本教育書道院教師)
渡部 洋 (演技指導者)
小嶋 亨 (門真フィルムコミッション番組企画部 部長・カメラマン・ライター)
小勝朝美 (俳優・フリーイベント企画アーティスト プロデューサー)
徳丸新作 (俳優・ラジオパーソナリティ・殺陣師・怪談師)
豊島礼子 (ラジオ音響オペレーター)
吉村昌晃 (合同会社 翔エンターテインメント代表)
川口新五 (俳優)
清水宏亮 (フィナンシャルプランナー)
顧問 河野 洋 (Mar Creation, Inc. 代表)
楠田たすく (イラストワークカムカム代表)
宮園厚司 (ジャーナリスト)
月橋宏隆 (中之島映画祭 企画長)

ANNUAL 事業報告書 REPORT2019



特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション
Kadoma Film Commission Osaka Japan

■OSAKA Head Office
門真フィルムコミッション事務局
〒571-0037 大阪府門真市ひえ島町32-8

■KADOMA branch
門真フィルムコミッション事務局
〒571-0025 門真市大学北島546番地 3階

■New York branch
ニューヨーク支部局
8576 66th Road Rego Park, NY 11374

TEL 06-6914-4427 FAX 06-6914-4427
e-mail info@kadoma-film.com

できることを、できる範囲で、なるべく楽しみながらやる。これは特定非営利活動法人 門真フィルムコミッションの基本理念です。これを逆説的に述べると、できないことは、できないので、楽しくないからやらない。ということになります。ボランティア活動は対価が支払われず心のご褒美がなければやらない方がいいし、自分がやりたいと思ったことをやる方が随分と建設的で健康的です。ですが例えば、5年前の私に国際映画祭を発足しろと言ったり、映画をつくれと言ったとしたなら、これはまさに、できないことは、できないので、楽しくないからやらない。という判断に至ったはずです。一人では到底できないことも皆に助けられながらだどやり遂げることができたりします。仲間が大切です。支援してくれる人も大切です。仲間がいて支援してくれる人がいるからこそ何かを成し遂げたり、新しい何かにチャレンジすることができます。このレポートを読んでくださっているということは、仲間であり、応援してくれている方であり、支援してくれている方です。もしも誰かが置き忘れていて偶々このレポートを拾って読んでいる方がおられたら、この偶然を必然に変えるために私と喫茶店に行ってキャラメルマキアート的な何かを飲みながら映画の未来についてお話をしましょう。きっと刺激的で先の読めない世界が広がるはずですよ。先が読めないのです。だからこそ面白いのです。でもあまりに先行きが不透明だと私自身も不安になりますから、実はそれなりに行き先を決めてから歩いているということをお伝えしたいと思います。門真フィルムコミッションでは、2025年度を最終年度とする未来地図「長期ビジョン2025」とその実現のための中期計画「中期フォーカス2020」を定め、2016年度から取り組みを進めてまいりました。皆様のお力添えを得て、おかげさまで一定の社会的評価をいただいております。生きていて毎日新聞の一面を飾ることになるとは思いもしませんでしたし、スウェーデンの新聞やコロンビア政府の文化省のサイトに掲載される日が来るとは思いもしませんでした。コロンビア政府ですよ？コロンビアと一切関りが無かった所から一気に政府のサイトに載るんですよ。人生って何かあるか分からないものですよ。それで言う内閣府に足を踏み入れる日が来るとは思いもしませんでした。「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」の政策奨励賞を受賞したことは生涯忘れられないできごとです。J:COMの皆様、市役所の皆様、そして私に応募するよう促して下さった酒井さん、ありがとうございます。副理事の松本さん、事務局長の佐久間さん、内閣府、刺激的でした。個人への賞とはいえど、皆で頂いた賞なので大切にしたいと思います。賞と言えばインドネシアの皆様からは文化功労賞と文化奨励賞を賜りました。インドネシアには門真フィルムコミッションの木が植樹されているとの報せを理事の徳丸さんから聞いた時は、昭和な物言いですが、たまげました。書きたいことやお伝えしたいことは、まだまだたくさんあるのですが、きっと紙面の関係上、どこかを割愛せざるを得ないと思います。(中略)最後に理事長らしいことを述べて、ご挨拶と代えさせていただきます。私共、門真フィルムコミッションは、広く社会から信頼されるNPO法人を目指し、これからもグローバルな存在感を保ちつつも、地域にしっかりと根差したNPO法人として地域振興、映像文化の支援に取り組んでまいります。引き続き、皆様方のご理解、ご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。



特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション 理事長 奈須 崇

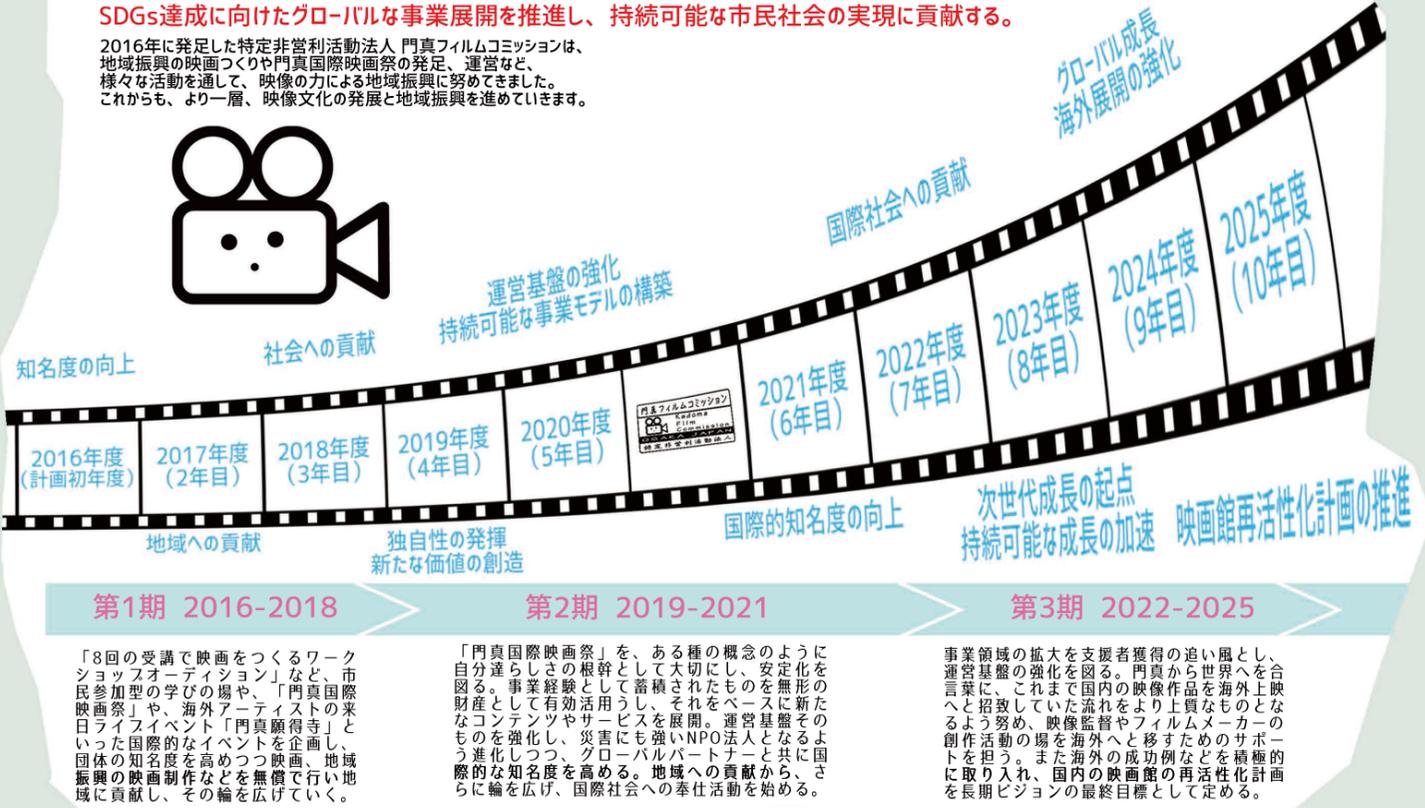
2016年	1月30日	ロケ撮影の支援団体として「門真フィルムコミッション」発足。	
	2月11日	市民向けのワークショップ「8回の受講で映画を作るワークショップオーディション」を開講。	
	6月15日	愛媛県今治市関前諸島岡村島において第1回関前諸島岡村島映画祭を開催。	
	9月16日	初の海外アーティスト招致活動となるイベント「門真願得寺」を開催。1478年(文明10年)創建の光明山願得寺にて、ブラジル人ミュージシャン「Divina Supernova」の初来日コンサートを主催。	
2017年	11月23日	オール門真ロケの長編映画「マイナス36℃のふたり」の撮影において、公道でトラックを横転させるという大掛かりな撮影を敢行。許可申請をした上での撮影であったが、本当の事故だと勘違いした消防車が救護活動に駆け付ける騒ぎとなるが、笑顔で乗り切り、無事撮った。	
	12月5日	地域コミュニティとして「門真フィルムコミッション写真部」が発足。同月17日、「門真フィルムコミッション餃子部」が発足。	
	1月23日	法人化。名称を「特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション」と改める。	
	3月25日	昨年好評であった「8回の受講で映画をつくるワークショップオーディション」の第2期が開講。	
2018年	6月27日	平成29年 門真市男女共同参画週間講演会で奈須理事長が講演。佐久間事務局長と朗読劇『舞台女優の妻と舞台俳優の夫』を上演。	
	11月10日-11日	今治市の後援事業として第2回関前諸島岡村島映画祭を開催。	
	11月18日	「理事だけで映画をつくる企画」で制作した短編映画「菜」(監督:金哲義)が、八尾80映画祭において全国公募作品の中から入選。	
	2月1日	門真映画祭運営事務局を開設。	
2019年	3月20日	世界的に活躍するダンサーで振付師、演出家のコトバタクミ氏が門真映画祭の特別審査員に就任。門真映画祭にダンス映像部門を設立。	
	4月27日	New York Japan CineFestと提携関係を締結。同日、「門真映画祭」から「門真国際映画祭」へと名称を変更。	
	7月4日	捨て猫が活躍する映画制作への助成支援活動「すて猫スタープロジェクト」のポスターが山尾武士氏のイラストによって完成。	
	7月10日	ニス国際映画祭 最優秀俳優賞を受賞のSADA氏が門真国際映画祭の公式エヴァンジェリストに就任。	
2019年	7月27日-29日	門真国際映画祭2018を開催。	
	10月25日	「理事だけで映画をつくる企画」第2弾で制作した短編映画「クロ-セットの赤」(監督:林知明)が、米子映画事変・米子3分映画宴に入選。	
	10月31日	ハリ州ギャナール県 ハリ日本文化交流協会より、門真フィルムコミッションが文化栄誉賞を受賞。理事長の奈須崇が文化功労賞を受賞。	
	2月7日	政府後援の民間表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」において、理事長の奈須崇が政策奨励賞を受賞。	
2019年	4月3日	門真市民プラザ内に新たな活動拠点として門真フィルムコミッションの事務ブースを開設。	
	4月5日	門真フィルムコミッション ラジオ部が発足。	
	7月24日-28日	門真国際映画祭2019を開催。	
	8月28日	大阪の中之島映画祭と提携関係を締結する。	

1	ごあいさつ
2	沿革・もくじ
3	長期ビジョン2025・中期フォーカス2020
4	年間スケジュール・数字でみる門真国際映画祭2019
5	写真
6	財務報告
7	組織データ

長期ビジョン2025

SDGs達成に向けたグローバルな事業展開を推進し、持続可能な市民社会の実現に貢献する。

2016年に発足した特定非営利活動法人 門真フィルムコミッションは、地域振興の映画づくりや門真国際映画祭の発足、運営など、様々な活動を通して、映像の力による地域振興に努めてきました。これからも、より一層、映像文化の発展と地域振興を進めていきます。



第1期 2016-2018

「8回の受講で映画をつくるワークショップオーディション」など、市民参加型の学びの場や、「門真国際映画祭」や、海外アーティストの来日イベント「門真願得寺」といった国際的なイベントを企画し、団体の知名度を高めて映画、地域振興の映画制作などを無償で行い地域に貢献し、その輪を広げていく。

第2期 2019-2021

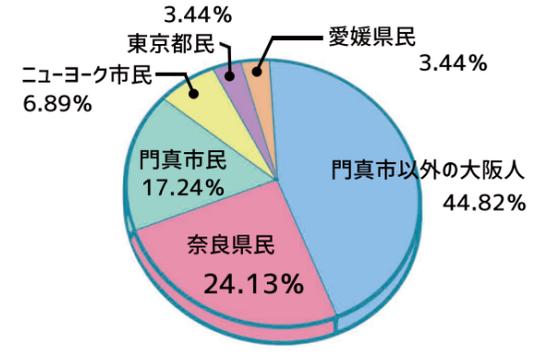
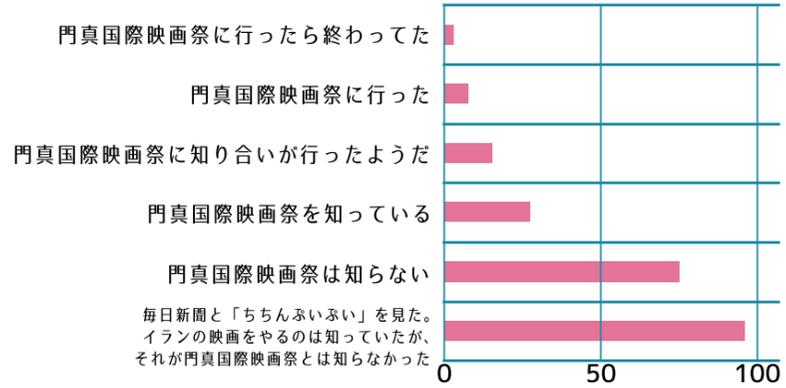
「門真国際映画祭」を、ある種の概念のようにならざるを得ない。自達らしさを根幹として蓄積し、これを大規模な事業として有効活用し、それを展開。運営基盤を強化し、災害にも強いNPO法人と共進化する。グローバルパートナーと共進する。実際の知名度を高める。地域への貢献から、さらに輪を広げ、国際社会への奉仕活動を開始する。

第3期 2022-2025

事業領域の拡大を支援者獲得の追い風とし、運営基盤の強化を図る。門真から世界へ上向くとともに、これまで国内の映像作品を海外へと招致していた流れをより上質なものとするよう努め、映像監督やフィルムメーカーの創作活動の場を海外へと移すためのサポートを担う。また海外の成功例などを積極的に取り入れ、国内の映画館の活性化計画を長期ビジョンの最終目標として定める。

数字で見る門真国際映画祭

門真国際映画祭2019 認知度



門真フィルムコミッション在籍 理事・顧問の奈良県民率

国内と海外あわせて**105**作品の映像を上映。

門真国際映画祭**2019**を取り上げてくださった新聞社**3**社、ラジオ局**8**局、テレビ局**3**局。

乃木坂**46**の「シンクロシティ」や「インフルエンサー」の振付師Seishiro氏が最優秀撮影賞と最優秀群舞賞をW受賞。

12の言語で映像作品の国際公募をし、**38**の国と地域から、**1026**本の映像作品の応募がありました。

小学**4**年生から**70**代の方まで幅広く運営にご参加いただきました。

ご来場者数 **1269**人。

ありがとうございました。



新たな取り組み 中期フォーカス2020

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

Quality 既存事業の強化と拡大と安定化

1. 『門真国際映画祭オンデマンド』

オンライン観劇サービス『観劇三昧』と協業し、映像ライブラリー・映像作家支援システムとしての機能を持つインディペンデント映画オンデマンド配信アプリの開発と運営を目指します。

「門真国際映画祭オンデマンド」は舞台映像オンデマンド配信アプリ『観劇三昧』のOEMにより、そのシステムを流用した月額固定制の会員制インディペンデント映画オンデマンド配信システムです。配信作品は門真国際映画祭の作品応募（2019年度は国内350本海外650本）と同時に募集。開催毎に作品が増えます。

Resource これまでの知見と資源の有効活用

2. 『おでかけ門真国際映画祭』

映画館のない地域に映画祭を届ける事業。被災地など一時的に映画館のない町を含め、キャンピングカーなど自立した寝泊まり飲食が可能な車両を用いてキャラバンを組み、支援物資を届けつつ野外上映会を行います。

必要物資を適時リサーチし、なるべく軽く小さく利便性が高く、可及的速やかに必要となる支援物資をピックアップし、避難所や必要とする人に無償配布をし、その際に野外上映会の周知をします。日暮れ前にスクリーンを設置し、震災後のストレス反応に対するケアを目的として映画を上映。支援物資と映画をお届けするキャラバンとしての活動を目標とします。上映する演目は、映画、アニメーション、ダンス映像、舞台映像、ドキュメンタリーなど、門真国際映画祭の入選作品です。

Creation 創造的行動力による社会への貢献

4. 門真フィルムコミッション 番組企画部

門真フィルムコミッション番組企画部に所属する理事8名で、番組企画部は進行しています。

トークの間に音楽が流れるようにコントや連続ドラマが流れる番組「今夜、かどまのパーで」や、年間300本以上の映画の審査をしている門真国際映画祭審査委員会のメンバーが、これから公開予定の映画や、今上映されている映画の中から選りすぐりの作品を紹介する「国際映画祭が選ぶこの映画」など。10月5日に「ならどととFM」で放送された第1回目の放送で紹介したのは、ベネチア国際映画祭で最高賞の金獅子賞を受賞したトッド・フィリップス監督の最新作「JOKER」を、「皆さんは、カバの撒きファンをご存知でしょうか？」という何の関連があるのか見当もつかない一風変わったテーマで映画愛あふれるトークを展開しました。情報発信力を強化し、人が自然と集まるように映画館の魅力伝えていきます。



Community 地域コミュニティのサポート

3. 『門真コミュニティシネマ』

ご家庭や自治会館などで出張上映会を行い、過去の名作や、興行的に主流でない映画の鑑賞機会をつくり、心に残る豊かな映画体験を様々な人々が共に体験する学びの環境を構築します。

コミュニティの結節点として映画へのアクセシビリティを高めることで、公共上映の振興と、地域活性化、多様なコミュニティに対する多様な上映機会の提供と文化拠点の創造を目指しつつ、社会を基盤としたアクティブラーニング（主体的・対話的で深い学び）を構築し、受動的な授業ではなく能動的に学ぶことができる子供から高齢者まで全ての世代を対象とした上映会形式の生涯学習講座を展開します。誰も孤立しない社会やコミュニティの再生を目的とし、様々な人種、性別、世代を超えた交流を促進、つながりの好循環を育みます。

特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション 年間スケジュール 2019-2020

2019	8月	9月	10月	11月	12月	2020	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
			後援名義の申請開始	特別上映作品編集開始	全世界公募開始	審査開始	広報開始	クラウドファンディング開始	協賛金依頼開始	プレスリリース第一弾	プレスリリース第二弾	門真国際映画祭2020	
	10日 ● 定例会	15日 ● 定例会	20日 ● 企画会議	1日 ● 映画、ドキュメンタリー部門公募開始	1日 ● ダンス映像、舞台映像、観光映像部門公募開始	20日 ● 総会	31日 ● 映画、ドキュメンタリー部門公募締切	29日 ● 映画、ドキュメンタリー部門2020年制作作品締切	中旬 ● 映画、ドキュメンタリー部門一次審査発表 下旬 ● ダンス映像、観光映像部門一次審査発表	中旬 ● 映画、ドキュメンタリー部門二次審査発表 下旬 ● 映画、ドキュメンタリー部門二次審査発表	下旬 ● 公式ポスター完成 中旬 ● ダンス映像、観光映像部門二次審査発表 下旬 ● 映画、ドキュメンタリー部門二次審査発表	下旬 ● 公式パンフレット入稿	2日 ● 門真国際映画祭2020初日 3日 ● 4日 ● 5日 ● 門真国際映画祭2020千秋楽 11日 ● 門真国際映画祭打ち上げ



政府後援の民間表彰制度「ふるさと名品オス・ザ・イヤー」で「地方の変革に向けた機運を醸成し、地域の将来を支える取組である」との評価を賜り、政策奨励賞を受賞しました。写真は内閣府にて、片山さつき大臣と奈須理事長。



オール門真ロケの長編映画「マイナス36℃のふたり」撮影風景。町の人たちの助力を得て、2台のクレーン車でトラックを釣り上げて倒しました。門真国際映画祭2019で初上映し、大勢の市民がスクリーンに映る町を楽しみました。



コロンビア政府の文化省のサイトに門真国際映画祭の事が掲載されました。また毎日新聞でも1面に掲載、河内新聞や産経新聞、スウェーデンの新聞GöteborgDirektでも大きなニュースとして大きく紙面に取り上げていただきました。



映画上映以外のコンテンツでも楽しんでいただくこと、舞台の衣装替えの速さを体験できる「2分で遊女」や、映画制作の全工程を1日で学べる「夏休みワークショップ」チャンバラ映画をつくろう」などを開催しました。



宮本一孝門真市長をスレゼンターにお迎えし、いつもの町の公民館が国際映画祭の授賞式会場に様変わり。授賞式は満員御礼でお立見のお客様も大勢おられ熱狂に包まれました。



アメリカ、イタリア、イラン、中国、台湾、コロンビア、オーストラリア、カナダなど、海外で活躍する映画監督達が門真国際映画祭の授賞式に参列し、門真国際映画祭の表彰楯を獲得しました。



乃木坂46『インフルエンサー』等を手掛ける注目の振付師&ダンサー-Seishiro氏が最優秀群舞賞を受賞。日本のダンスシーンを力強く牽引する氏の受賞は大きな話題となりました。



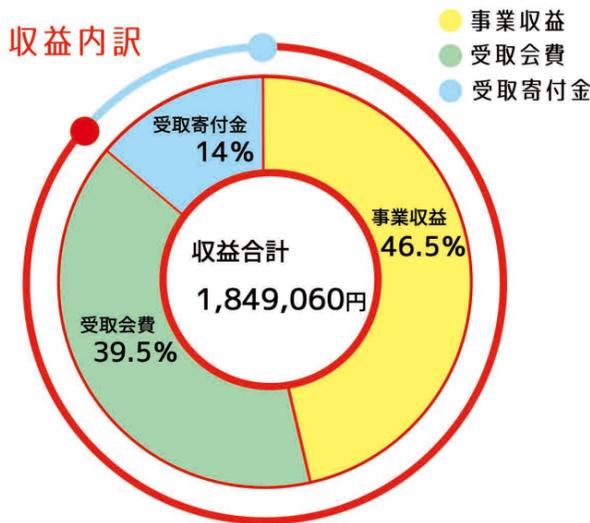
海外作品映画部門でグランプリを受賞したGiorgio Franchini 監督と、最優秀助演女優賞に輝いたPaola Calliariさんと、そして公式エヴァンジェリストのSADA氏。イタリア文化会館-大阪の皆様には通訳などでお世話になりました。

令和元年 活動計算書	
科目	
I 経常収益	
1.受取寄付金	441,160円
2.受取助成金	0円
3.事業収益	859,900円
4.その他収益	548,000円
経常収益計	1,849,060円
II 経常費用	
1.事業費	1,601,822円
2.管理費	241,500円
経常費用計	1,843,322円
当期経常増加額	5,738円
III 経常外収入	
経常外収入計	0円
IV 経常外費用	
経常外費用計	0円
当期正味財産増加額	5,738円

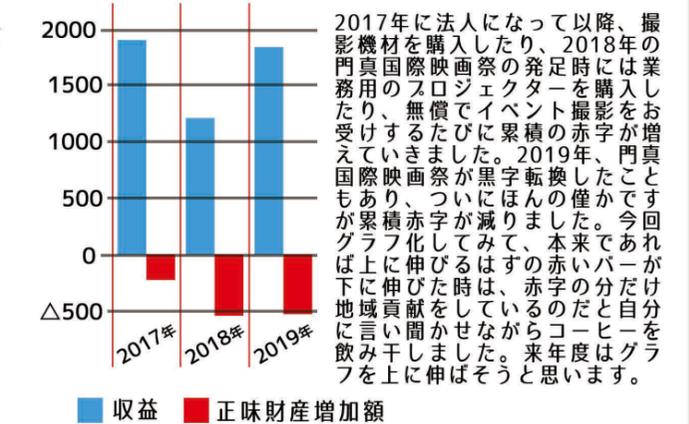
令和元年 貸借対照表	
科目	
I 資産の部	
1.流動資産	246,640円
2.固定資産	506,000円
3.繰延資産	△500,000円
資産合計	252,640円
II 負債の部	
1.流動負債	0円
2.固定負債	800,000円
負債合計	800,000円
III 正味財産の部	
正味財産合計	△547,360円
負債及び正味財産合計	252,640円



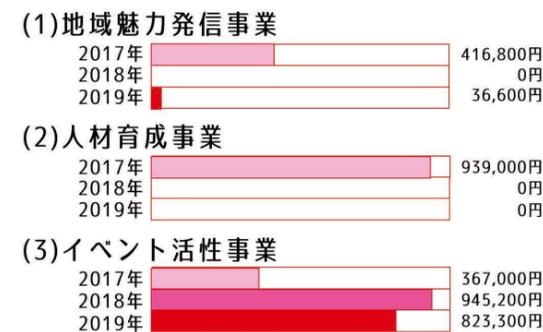
収益内訳



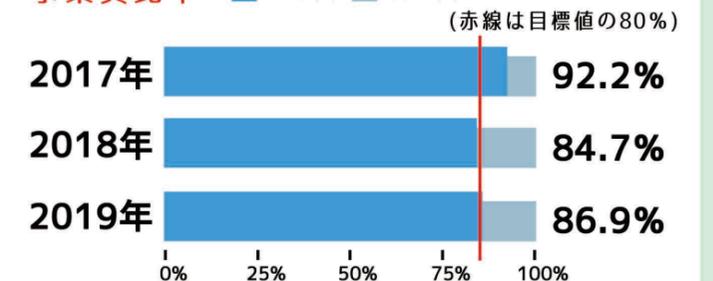
収益・正味財産増減額 (単位1000円)



主要事業別収益



事業費比率 ■ 事業費 ■ 管理費



事業のために支出した事業費と、団体を維持管理するための管理費との割合を示す事業費比率は、皆様からお預かりした寄付金や協賛金、会費をきちんと事業に使用したかどうかの比率と言えます。2019年度は86.9%となりました。門真フィルムコミッションでは、事業費比率が80%程度になるよう運営しています。